

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

11月号(NO50)通巻 200号

2022年11月10日(木)発行(毎月10日)

【農暦】柿は食べてよし観てもよしである！

○最近日は短い暗くなるのが早い、4時半には陽が落ち暗くなり始める。7日は立冬である。炬燵は出して使っている。人間て勝手なものである。暑い時は寒さが恋しくなる。寒いと暑い時が良かったと思う。午後から始めた農作業は作業半ばで暗くなってしまう。つるべ落としというが、あっという間に暗くなってしまう。

○秋から年末はイベントが多い、収穫作業、畑の片付け、剪定などやらなければならないものが多い。草の繁茂から解放されたが作業の制約も多い。この時期の作業が大事なのは判っているが、お天気と用事ごとなどと相性が悪いと計画通り進まない。

○紅葉を愛でたり、のんびりしたいと思ってもなかなか出来ないそんな時にご近所さんから好物の柿を頂いた。美味しい。葉が落ち実だけ残った柿の木のある景色も好きである。最近なかなか出会えないが、絵になる。柿は食べてよし観てもよしである。



<ブルーベリー>5日撮影

○COP27がエジプトで6日に開催されたが、CO2排出の49%を1割の富裕層が使い、5割の貧困層は10%しか輩出していない。基本に貧富の問題がある。また貧富の問題は農業、食料の在り方でもある。やはり“農”は基本なのだと思う。

○食料自給率は更に下がり37%である。40%を少しでも上げる努力していた筈が3ポイントも下がっている。経済安保や軍事安保が言われているが、食料自給率は何よりも大事と思うのだが、あまり話題にならない。お金や兵器ではお腹を満たすことは出来ないのである。地産地消も叫ばれて久しいが、食品のマイレージは長くなるばかりに思える。お金さえあれば美食を食れる。農業、食の在り方でCO2削減も進められるのである。この些細なマイクロ菜園だけでも大事にしたいものである。

○ブロッコリー、白菜が植えたばかりで虫に食われていて心配していたが、成長点が無事だったようで生育している。つる首カボチャ、キュウイの収穫がある。楽しみにしている。ブルーベリー剪定もしたい。庭木も伸び放題である。シイタケの原木にキノコが出て来たこれも楽しみである。(了)



<黒豆の乾燥>5日撮影

【楽農】<畑>小豆の収穫、黒豆の三角錐干し。ピーマンはま

だ採れてる。つる首カボチャ試し採り。畑片付け、耕起

【楽市】イベント等；詩吟例会(13・27日)バードゴルフ大会(14日)ダイバーシテ講演会(16日)飲み会(18日)川柳の会(3日)公民館まつり展示(3~5日)

【つぶやき=Tweet】ワインはグラスから飲みたい？

○6日の天声人語に「トリクルダウン」のことが書かれていた。富裕層や大企業が豊かになれば中間層以下にも効果が滴り落ちるといふ経済理論である。この筆者はイギリスで「馬に麦をたっぷり与えれば、その排泄物でスズメがおぼれに預かれるという考え方」と習ったという。英国のトラス前首相の大型減税政策で世論は「金持ち優遇政策だ」と猛反発を受け史上最短で辞任した。日本ではアベノミクスである。小泉政権から始まった新自由主義経済政策である。

○「グラスからあふれるワイン、流れ落ちる泉、そして馬とスズメ。長く想像力をかきたててきた理論も、ついに年貢の納め時か」で終わっているが、米国の中間選挙でもこの論とは異質だが富を巡る問題が基本にある。内外政策に分断を起している。富をめぐる深刻な分断を生んでいる。民主主義か専制？かとよく言われるが民主主義も相当痛んでいる。新自由主義経済論を主張する政治家がまだまだ多くいると思えてならない。トラス前首相もアベノミクスも復権して欲しくない。馬の排泄物は欲しくないし、ワインはグラスから飲みたいからである。

○英国グラスゴーのCOP26で石炭火力の段階的削減が出されていたが、ウクライナ侵攻に伴うエネルギー危機で脱炭素の流れに逆行する動きがあるという。ドイツは石炭火力の再稼働を、オランダ、イタリアなど安価な石炭の再利用を検討する国が相次いでいるという。ウクライナを止める世論こそ大事である。米国共和党重鎮のマッカーシー議員がウクライナに無制限に金を使わせないと語ったというが、どのような立場であろうと、加担や煽ることではなく止める論議こそ大事である。30年近く続けられた国際会議の温暖化対策が無にされかねない危機に晒されているのである。日本は石炭火力で批判され続けられているが、この時ばかりと原子力を安易に話題にしている。軍事予算も平和憲法が無いような論議が平然とされている。既に軍事大国になっている。歴史は繰り返されるというが怖いことばかりである。

○川柳の会のことを知ってのことか、Fさんから突然、もみじマークと共に“もみじ川柳”がLINEで送られて来た。迷(名)句ばかりですね。ここままだ行けませんね、と返信した。“無農薬こだわり続け薬漬け”“紙とペン探している間に句を忘れ”など身につまされる名句が満載だった。車も、もみじマークだが我人生にも、もみじマークがついて来ている。人生100年時代という、“老木は枯れた振りして新芽出す”でいきたいものである。(了) *公民館まつりで草木が材料

○断捨離考：少しだけ整理し中断また再開！

【後記】すべてが温暖化に繋がる！【HP転載】



<プラントドール* >3日撮影



<ビオラ>7日撮影

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話：090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com